

お口の健康情報室

入れ歯は自分の歯と同じように、毎日の清掃とメンテナンスが必要です。付着した食べかすや歯垢(プラーク)を放置すると、細菌の繁殖や悪臭の原因になります。

さらに、カンジダ菌による感染や口内炎のリスクも高まっています。特に要介護認定を受けている高齢者の入れ歯には、誤嚥性肺炎などの呼吸器感染症を引き起こす細菌が見つかることがあります。口腔

入れ歯正しく手入れを

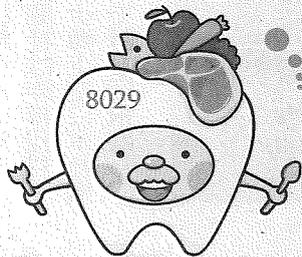
内の健康はもちろん、全身の健康を守るためにも、入れ歯の正しい手入れが非常に重要です。

ただ、熱湯に入れる、硬いブラシやスポンジを使う、歯磨き粉で磨く、漂白剤につける——といった手入れ方法は誤りです。正しい手入れ方法として、①柔らかいブラシでブラッシング②こまめに水やぬるま湯につける③食事ごとに洗浄する——がおすすです。

また、入れ歯は長く快適に使用するためのメンテナンスが必要です。定期的に歯科で調整してください。プラスチック

ック製の入れ歯は、熱や乾燥に弱いことから、変形やひび割れを防ぐため、使用後は水を含んだ容器で保管しましょう。

入れ歯の正しい手入れを習慣化し、いつまでも清潔で健康的な口腔環境を保ちましょう。(千葉県歯科医師会)



「8029運動」PRキャラクター もぐじい